

青年部による仙台宣言

社会の変化によらず、人は平和を望んできた。
民間ユネスコ運動が誕生して以来、ユネスコはそうした人々の心に
寄り添うことを役割とし、どのようにあるべきかを考えてきた。

この基本となる精神は不変であり、その時代その地域における
「心の平和の砦」とは何か、その砦をどのように築くか、
いつの日も考え続けなければならない。

平和をどのように表現するかは、多様で人それぞれである。

世界に目を向ける人、
地域での活動を重んじる人、
新しいことに挑戦する人・・・。
この多様性を制限するのは勿体無い。

よって私たち青年は次の通り宣言する。

民間ユネスコ運動という枠や、青年であることにとらわれず、
人々の多様な平和の望みに目を向ける。
そこから生まれる多様な表現を尊重し、それに寄り添うユネスコ精神を守る。
これらを担う民間ユネスコ運動を未来へと持続させていく。